

CMakeLists.txtのテンプレートに含まれているfind\_package(OpenRTM)を外した場合の動作を調べる

2018/06/01 09:15 - n.kawauchi

ステータス:	解決	開始日:	2018/06/01
優先度:	通常	期日:	
担当者:	n.kawauchi	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
<b>説明</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows環境の場合はインストーラがシステム環境変数OpenRTM_DIRを定義しているので、CMakeはOpenRTMConfig.cmakeのディレクトリをすぐに特定できる。 この環境では、CMakeLists.txtへfind_package(OpenRTM)を記載して検索してはいけないとのこと。(slack 原さんより)</li> <li>CMakeを使う(find_packageを使う)ということは、なるべく環境変数に依存しない方がよい(ポータビリティが増します)ということですが、 OpenRTM-aistはWindows環境の場合、32bit版、64bit版の両方をインストールして切り替えて使用することができるようにしているため、システム環境変数を利用している</li> <li>Linux環境での動作も確認し、テンプレートの修正について調査する</li> </ul>			
<b>関連するチケット:</b>			
関連している RTC Builder - バグ #4559: C++用のCMakeLists.txtのテンプレート...		解決	2018/06/15

**履歴**

#1 - 2018/06/15 04:58 - n.kawauchi

- ステータスを新規から解決に変更

- 進捗率を0から100に変更

- C++用のトップのCMakeLists.txtに含まれる下記2行は削除してOK

```
# Get necessary dependency information
find_package(OpenRTM)
```

- C++用は、このCMakeLists.txt中にもう1か所入っていて、2回宣言しているため
- find\_package(OpenRTM)を呼び出すことで、インストールされているOpenRTM-aistのバージョン番号を取得し、これをmsi,deb,rpmパッケージ作成時のインストール先パスとして利用している
- 上記削除後のビルド動作をWindowsとFedora27で確認済み

#2 - 2018/06/15 05:05 - n.kawauchi

- 関連しているバグ#4559: C++用のCMakeLists.txtのテンプレートに含まれているfind\_package(OpenRTM)を削除するを追加